

「誰もが住みたい小谷村」を目指して
小谷村景観づくり勉強会

小 谷 村

本日の内容

1. 景観保全・景観づくりについて
2. 景観計画について
3. アンケート結果
4. 意見交換

1. 景観保全・景観づくりについて

小谷村の景観



小谷村の景観



小谷村の景観



景観づくり

小谷村が持つ美しい景観を財産として捉え、これを保全するとともに、暮らしやすさと発展のバランスが取れた村づくりを実現し、人と自然が共生する美しい郷土を次世代に継承しましょう。

景観づくり

「主要な観光地及び都道府県における景観計画の策定について（H28.9.26付国土交通省通知）」で、

「明日の日本を支える観光ビジョンにより、景観の優れた観光資産の保全・活用による観光地の魅力向上を図るべく、2020年を目途に、主要な観光地で景観計画を策定すること」として、小谷村が「主要な観光地」として記載されています。

景観づくり

2020年度を目標に
小谷村の景観に合った

「景観計画」

「景観条例」

をつくり、みんなで景観保全・景観づくりを進めましょう。

2. 景観計画について

小谷村における景観づくりの計画である「小谷村景観計画」が今なぜ必要なのか、そもそも景観とは何なのかを考えます。

そもそも「景観」とは？

「見る人」と「見る対象」から成り立つ「景観」

- 「景」＝見る対象 ⇔ 「観」＝見る人
 - 物理的なものを「人が見る」ことによって景観として成立する。

「良い景観」＝「良好と感じる眺め」

- 周囲と調和していないものは景観を壊す。
 - 物理的な眺めと見る側の相互関係で成り立っている。

自然と人の営みによってつくられる

- 地形や自然、歴史や文化、産業活動、暮らしなどの結果。
 - 地域の全てが関わってくる。

「景観」のとらえ方



越戸峰付近からの眺め

「景観」のとらえ方



景観づくりの必要性

景観づくりがもたらす効果

- ① 毎日を快適に、心豊かに過ごせる
 - 住む人の満足度が高まる
- ② 地域に対する愛着と誇りが高まる
 - 自主的な取組が始まるなどの良い循環が生まれる
- ③ 域外の人をひきつけ、交流が生まれる
 - 観光振興を含む地域活性化につながる

その結果  **✓小谷村が更に元気になる**

景観づくりの必要性

景観法が生まれた背景

■ 景観法成立以前

- 景観を整備・保全するための**国民共通の基本理念がなかった**
- 自主条例（景観法に基づかない）による、行為に対する「勧告」等の**制度的・手法的限界**



■ 景観法の必要性

- 景観の意義、整備・保全の必要性を明確化
- 地方自治体に対して、いざという場合の**一定の強制力**を付与

景観づくりの必要性

小谷村を取り巻く状況

■ 景観法の成立（平成16年）

- 地域づくりの「量の確保」から「**質の確保**」への転換
- 地域が**独自ルール**を定められるようになった

■ 急速な人口減少による地域コミュニティの低下

- 小谷村の目指すべき姿：**地域コミュニティの維持** ※小谷村総合戦略による

■ 訪日観光客の増加

- 2018年は3,000万人が日本を訪れた
- ショッピングなどの「モノ消費」⇒滞在・体験の「コト消費」へ
特に「**日本らしさ**」への憧れ

景観計画の役割

良好な景観づくりの基本方針を示す

- 将来像と方針を示し、地域全体として景観づくりに取り組むための共通認識の醸成をはかる。

良好な景観づくりのためのルールの提示

- 地域の実情に合わせて景観づくりの具体的な内容を選択し、示す。

景観づくり関連施策の体系化

- 景観行政に関する施策を体系化し、継続的な運用方法を示す。

景観計画の効果

景観計画策定

予期せぬ開発に対する
一定の抑止力

地域の実情を踏まえた
目標設定

- 美しいまちなみの保全・創出
- 住民の意識啓発
- 地域固有の文化の継承
- 地域固有の自然環境の保護

など

村の人気向上

治安の向上

交流人口・定住人口の
増加

経済の活性化

地元への愛着の向上

景観計画で定める内容

定める事項	内 容	景観法との関係
①景観計画の区域	● 景観計画を適用する区域 →原則は小谷村全域	必須事項
②良好な景観の形成に関する方針	● 目指すべき良好な景観の姿 ● 基本目標、基本方針	(努力事項)
③良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項	● 届出対象行為 ● 景観保全・育成基準	必須事項
④景観重要建造物または景観重要樹木の指定の方針	● 良好な景観の形成に重要な建造物、樹木の指定方針	指定対象がある場合は必須
⑤その他良好な景観の形成に必要な事項	● 景観重要公共施設の整備 ● 屋外広告物に関する行為の制限	—

参考：景観計画構成（案）

- 第1章 計画のあらまし
 - 背景と必要性
 - 役割分担 など
- 第2章 小谷村の景観特性
 - 代表的な景観資源
 - 地形的特徴
 - 景観資源の分布 など
- 第3章 景観計画の区域
 - 景観計画区域
 - 地域区分（ゾーン区分）
- 第4章 良好な景観の保全・育成に関する方針
 - 基本理念・基本方針
 - 地域区分ごとの方針
 - 景観重点地区 など
- 第5章 行為の制限に関する事項
 - 届出対象行為
 - 景観保全・育成基準（地区別など）
- 第6章 景観重要建造物、景観重要樹木の指定方針
- 第7章 良好な景観の保全・育成のために必要な事項
 - 景観重要公共施設の整備
 - 屋外広告物に関する行為の制限
- 第8章 景観づくりの推進に向けて
 - 景観保全・育成に取り組むための体制
 - 協働による景観育成の推進 など

※下線は景観法上の必須事項を示す。

住民懇談会などで話し合っていたきたいこと

良好な景観づくりの方向性と進め方

■ 小谷村の景観をどうしていくか？

- 小谷村の景観の大切にしたいところ、
変えたいところ
- 小谷村はどのような景観を目指すべきか？

■ 目指す景観づくりのために何をすべきか？

■ 継続的な取組のために何が必要か？

長野県内の景観行政団体

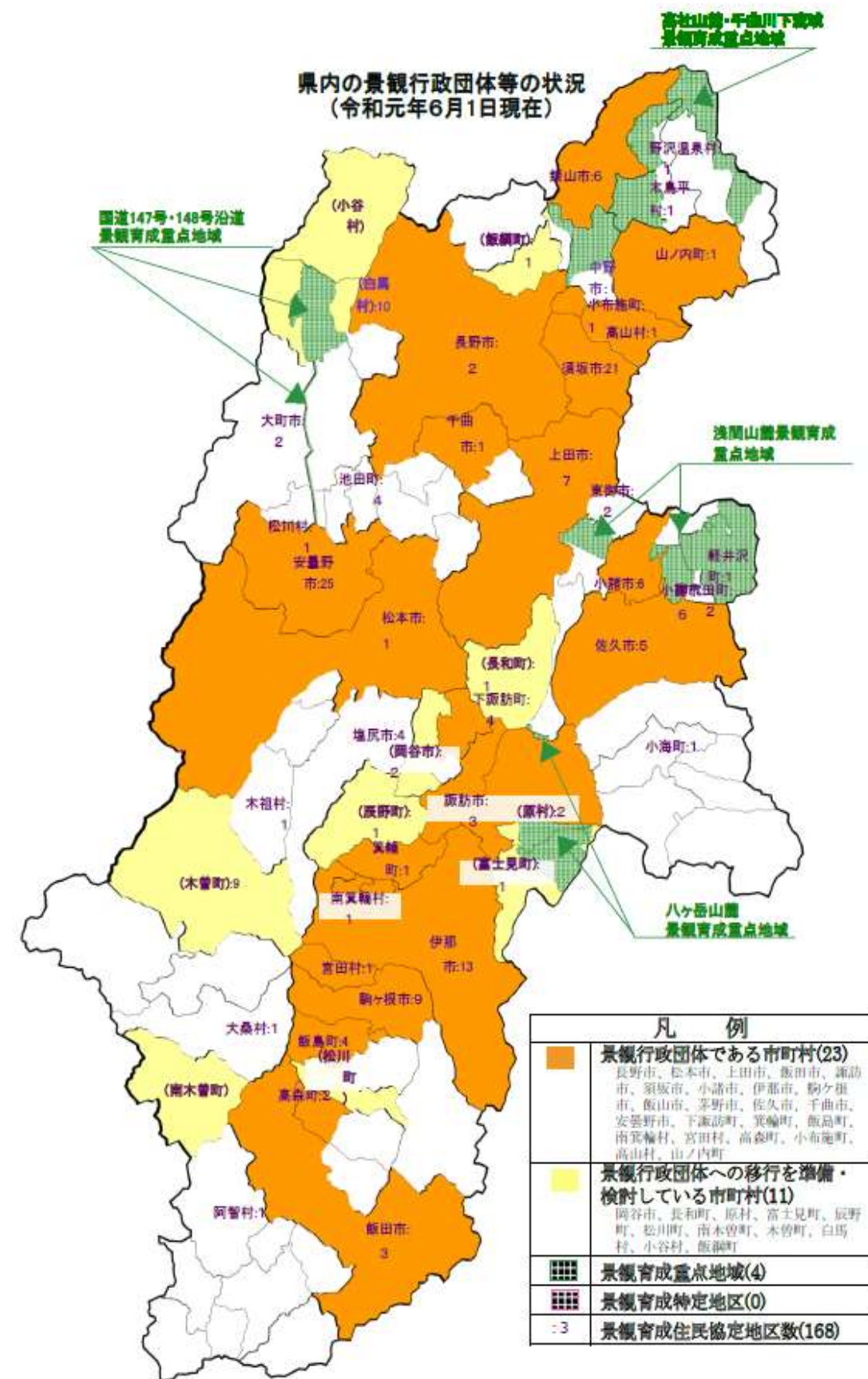
北信	長野市	須坂市	飯山市	千曲市
	小布施町	山ノ内町	<u>高山村</u>	
東信	上田市	佐久市	小諸市	
中信	松本市	安曇野市		
南信	飯田市	諏訪市	伊那市	駒ヶ根市
	茅野市	下諏訪町	箕輪町	飯島町
	<u>南箕輪村</u>	<u>宮田村</u>	高森町	

以上、23市町村

※平成31年（2019年）3月時点／下線は村

景観行政団体とは？

- 景観行政を実施する市町村。
 - ◆ 景観行政団体でない場合は、県が景観行政を実施する。
- 県知事と協議し、同意を得て景観行政団体となる。



景観づくりの必要性

北海道ニセコエリアで起きていること

■ 外国人観光客の大幅な増加

- 地価の異常な高騰

- 地価上昇率全国 1（30%超）⇒元々の住民の域外流出

- 町内会組織の崩壊

- 町内会費が集まらず、街灯が消えたまま

- ごみ出しルールが守られず、ごみが収集されない

- 町にお金が落ちない

- 事業者が外国籍の場合、その国へ入金されることになる

■ 行政によるコントロール不能な状況となりつつある!?

 **全国どこでも起きる可能性**

景観づくりの必要性

「割れ窓理論」

■ 「1枚の割れたガラスを放置すると、 いずれ街全体が荒れ、犯罪が増加する」

- 米国ニューヨーク市において1994年以降犯罪の大幅な減少
 - 割られた窓の修理、落書きの消去、軽微な犯罪の取り締まり強化
 - ニューヨークは「危険な街」のイメージを払拭、観光客増加へ

■ 日本国内の事例

- 東京港区：六本木安全安心パトロール隊
- 東京都足立区：ビューティフル・ウィンドウズ運動
- 京都府：京都府庁落書きバスターズ

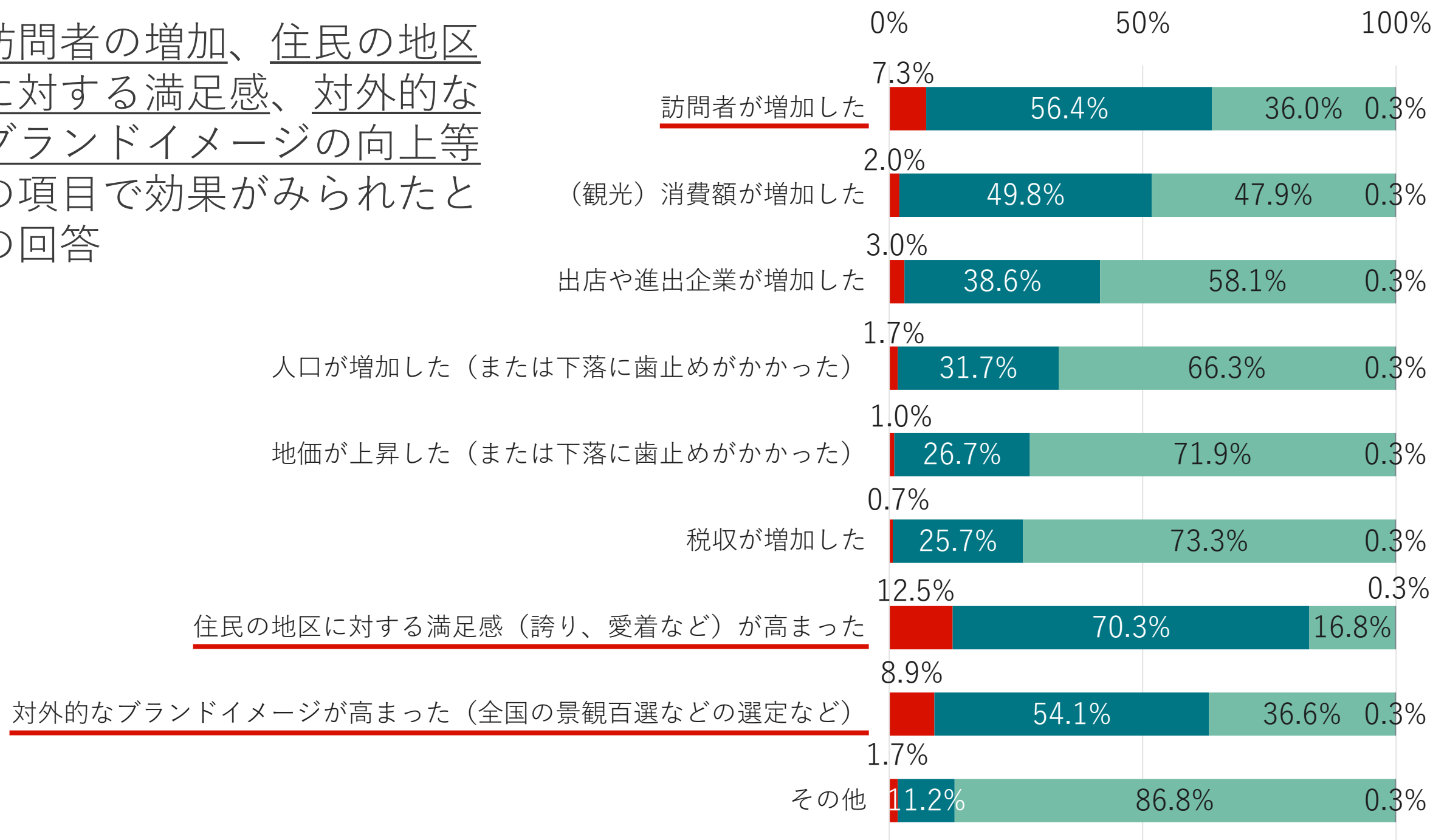
⇒ 耕作放棄地、廃屋の問題にも通じる？

景観づくりの効果

□ 既に景観計画を策定し、取組を進めている自治体へのアンケート
(平成23年度実施)

◆ 訪問者の増加、住民の地区に対する満足感、対外的なブランドイメージの向上等
の項目で効果がみられたとの回答

■ 既に効果が発現した
■ 今後、効果の発現が見込まれる
■ 効果は発現していない／今後も見込まない
■ 無回答



n = 303

出典：景観形成の取組に関する調査（平成23年9月時点） 国交省資料

景観づくりの事例

景観づくりにより交流人口が増加した例：小布施町

- 1970年代は観光地ではなかった
 - 町並修景事業、景観づくり指針の策定、地域型住宅整備事業等を実施
- 景観を意識したまちづくりにより、100万人が訪れる観光地へ
 - 県内主要観光地と比較し、リピーター率が高いという特徴
 - 人口は横ばいを維持（1.1万人）



出典：「小布施のまちづくり」

景観づくりの事例

山間集落地域の例：島根県おうなんちょうかいずみ邑南町川角地区

- 耕作放棄地再生を目的にハナモモを植樹
 - 2haに2,000本（2007年）
 - ハナモモを選んだのは労力が比較的少なくて済むため
- 開花期を中心に年間4,000人が訪れる地域へ
 - ハナモモの下で山菜を栽培：Uターンにつながる



出典：邑南町観光協会ウェブサイト

景観づくりの事例

標識・サイン類を統一させた例：県内広域連合

- 広域でのイメージ統一と見やすさの両立

□北アルプス広域連合



□木曽広域連合



出典：木曽広域連合ウェブサイト

景観づくりの事例

景観が問題となっている例：東京日本橋

- 東京の象徴の一つと言える日本橋
- 上空を通過する首都高速道路の撤去と地下化を検討中



(出典)：「昭和31年の日本橋」/中央区立京橋図書館

昭和31年

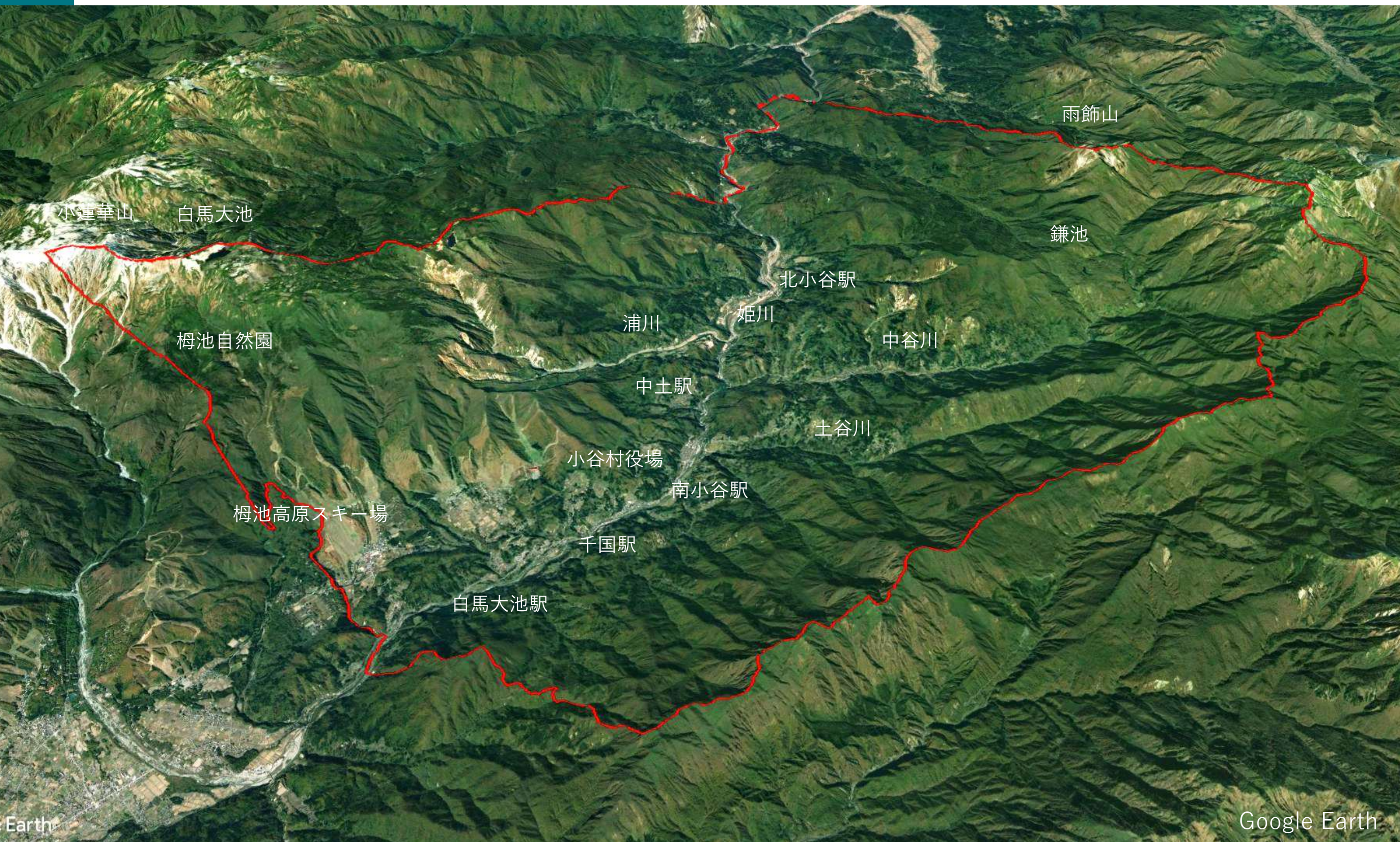
出典：「首都高日本橋地下化の検討経緯」



現在(20代目)(平成23年時点)

景観づくりを考える前に、
現在の小谷村にはどのような景観の
特徴があるのか、見てみます。

小谷村全体



小谷村の景観軸

南北方向

- 河川景観軸：姫川
- 道路景観軸：国道148号、塩の道
- 鉄道景観軸：JR大糸線

東西方向

- 河川景観軸：中谷川、土谷川
- 道路景観軸：県道114号川尻小谷糸魚川線、
県道330号奉納中土停車場線



小谷村の景観構成要素

■ 自然

- 山岳・高原（北アルプス、東山、前山）
- 川・湖沼（姫川、白馬大池、鎌池など）
- 農地
- 森林・樹木
- 遊歩道

■ 暮らし

- 集落
- 商工業
- 公園
- 交通
- 災害と復興

■ 眺望

- 頂上等からの眺望
- 沿道・車窓からの眺望
- 集落からの眺望
- スキー場からの眺望

■ 歴史・文化

- 遺跡、社寺
- 歴史的建造物
- 街道・古道
- 伝統行事

自然 [山岳・高原]



自然 [川・湖沼]



中谷川

自然 [森林]

針葉樹と広葉樹が混じる森林景観
中谷郷

A photograph of a dense forest with many tall, thin trees. Sunlight is filtering through the canopy, creating a dappled light effect on the forest floor. The trees are mostly bare, suggesting a deciduous forest in late autumn or winter. The ground is covered with fallen leaves and some low-lying vegetation.

自然 [森林]

スギ林・大網

自然 [海]

戸土集落から見える海

自然 [巨木]



大ケヤキ・大網

眺望

眺望の郷からの眺め

暮らし [集落]



暮らし [集落]



暮らし [集落]



暮らし [集落]



暮らし [集落・観光]



暮らし [交通]



南小谷駅

暮らし [交通]



暮らし [交通]



暮らし [交通]



浦川橋

暮らし [交通・災害復興]

国道148号と大糸線
姫川の災害復興

暮らし [公共施設]



小谷小学校

歴史・文化 [街道・古道]



大網峠越え

塩の道（大網峠越え）

小谷村フォトライブラリー

歴史・文化 [街道・古道]

塩の道・戸土

歴史・文化 [石造文化財]



歴史・文化 [伝統行事]



千国諏訪神社例祭
小谷村フォトライブラリー

歴史・文化 [伝統行事]



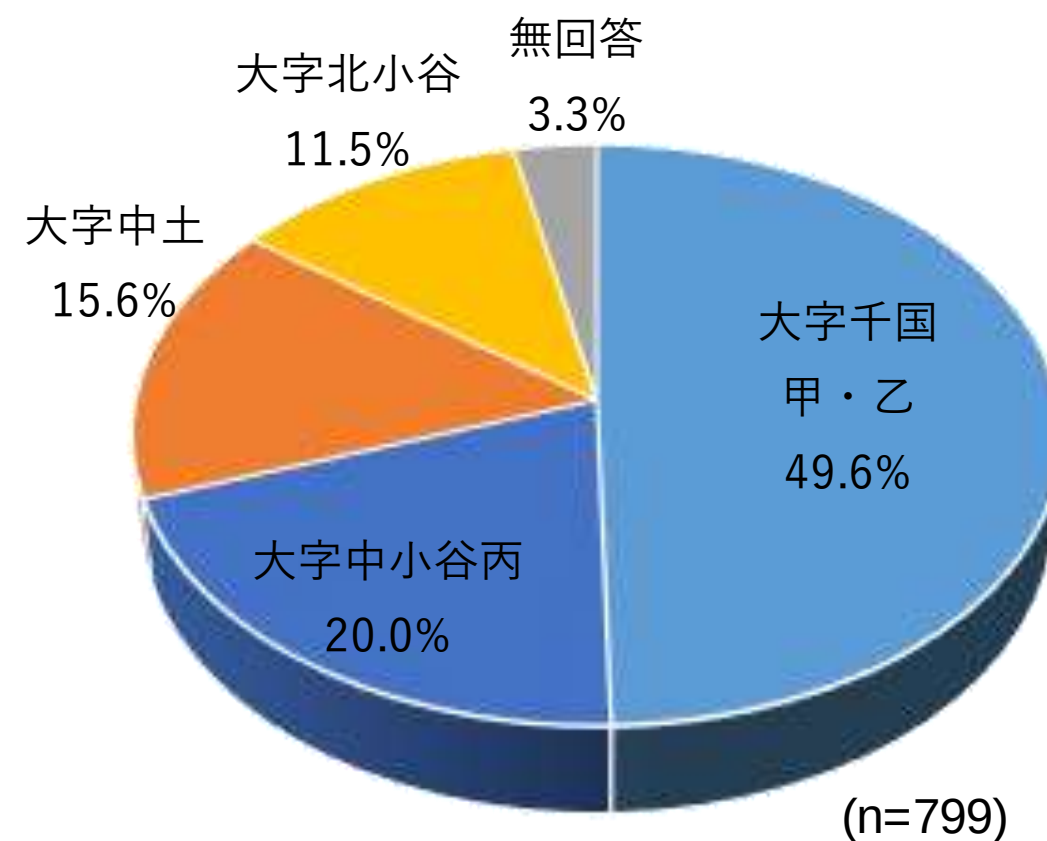
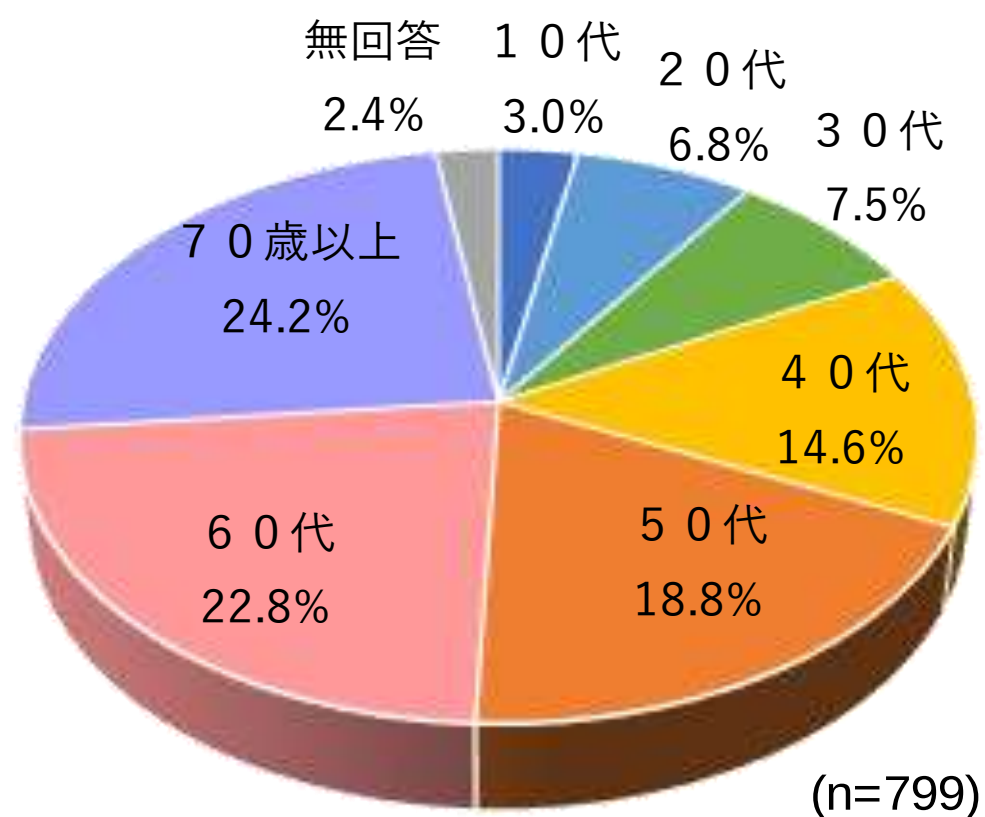
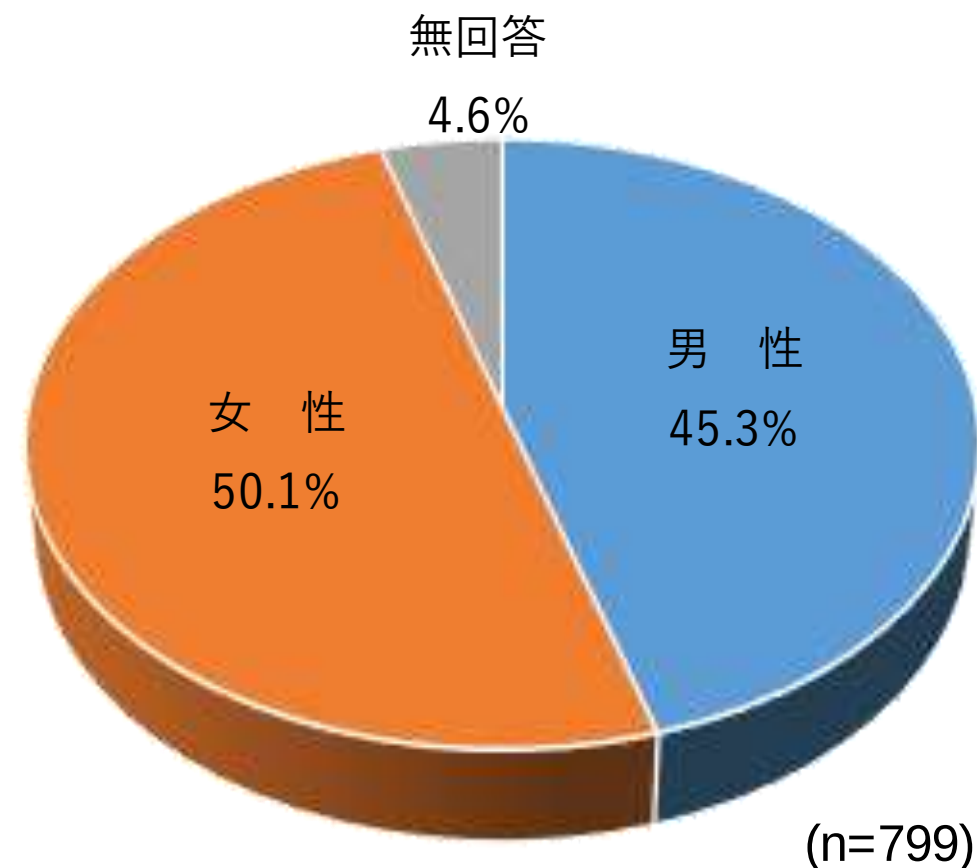
3. アンケート結果

昨年（2018年）12月～今年1月に実施した、
「景観に関するアンケート」の結果を
ご紹介します。

アンケート回答者属性

■ 配布数及び回収数

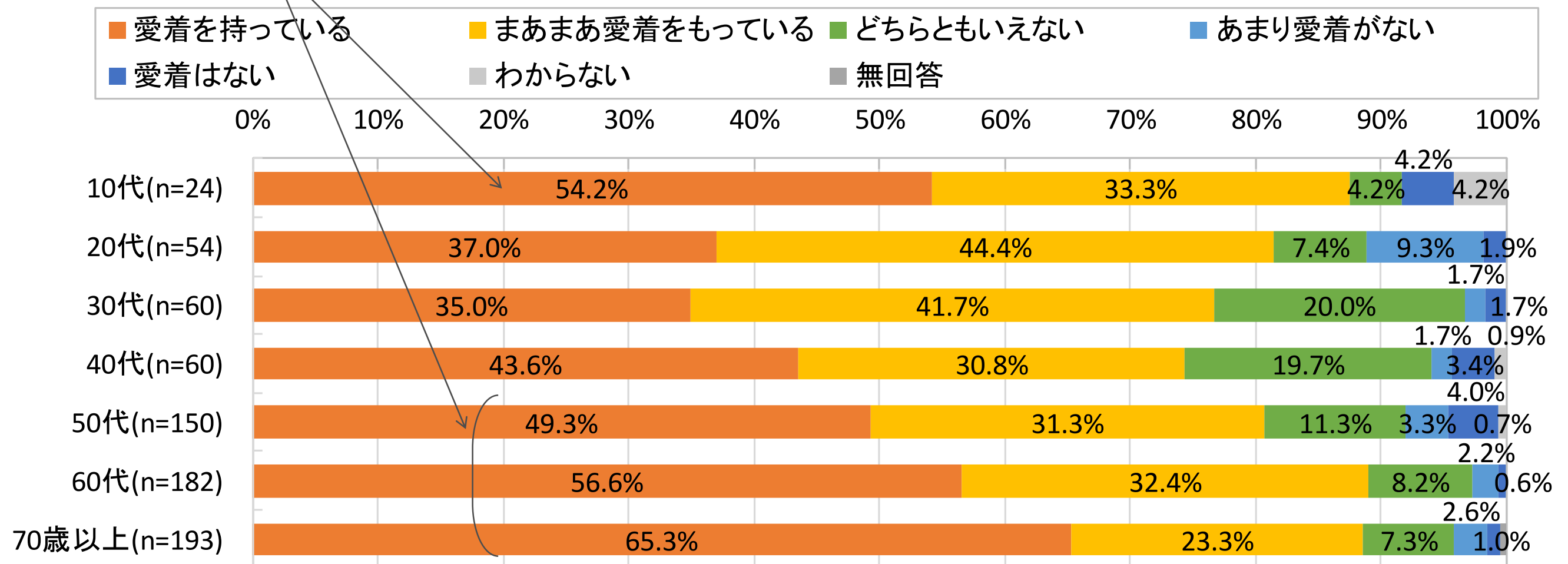
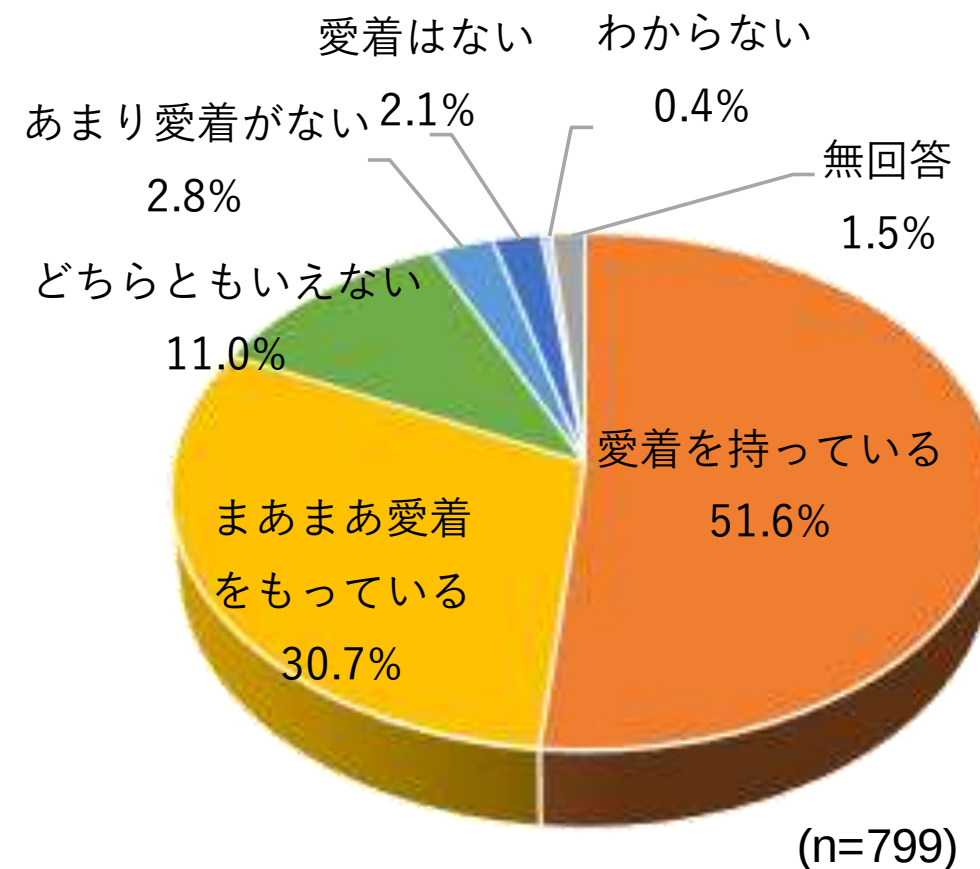
- 配布数：2,000通
- 対象者：満16歳以上の村在住者
- 回答数：799通



小谷村への愛着度

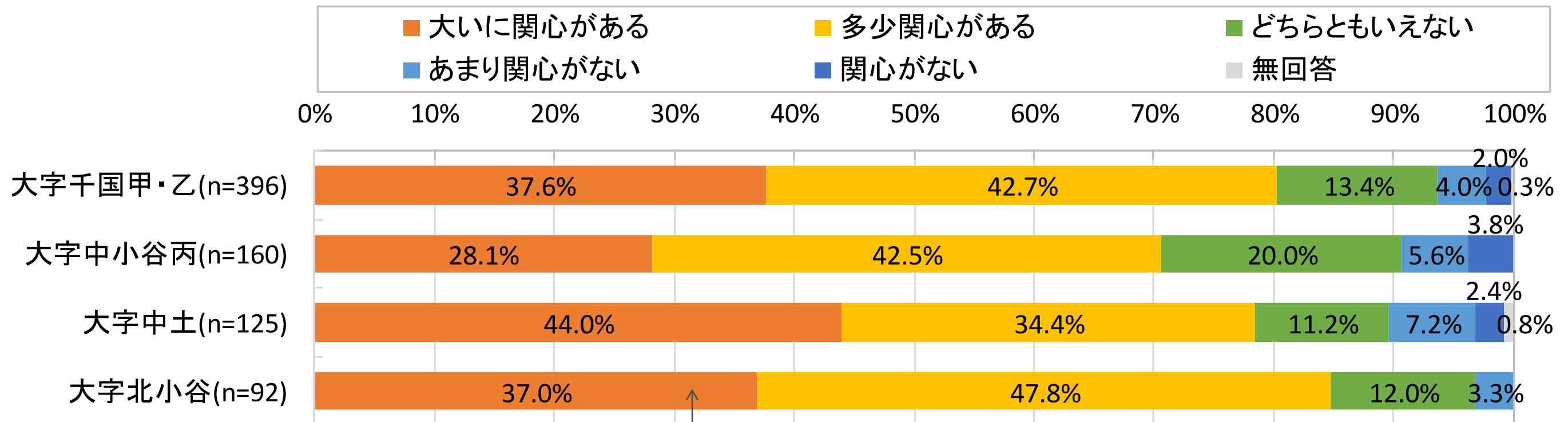
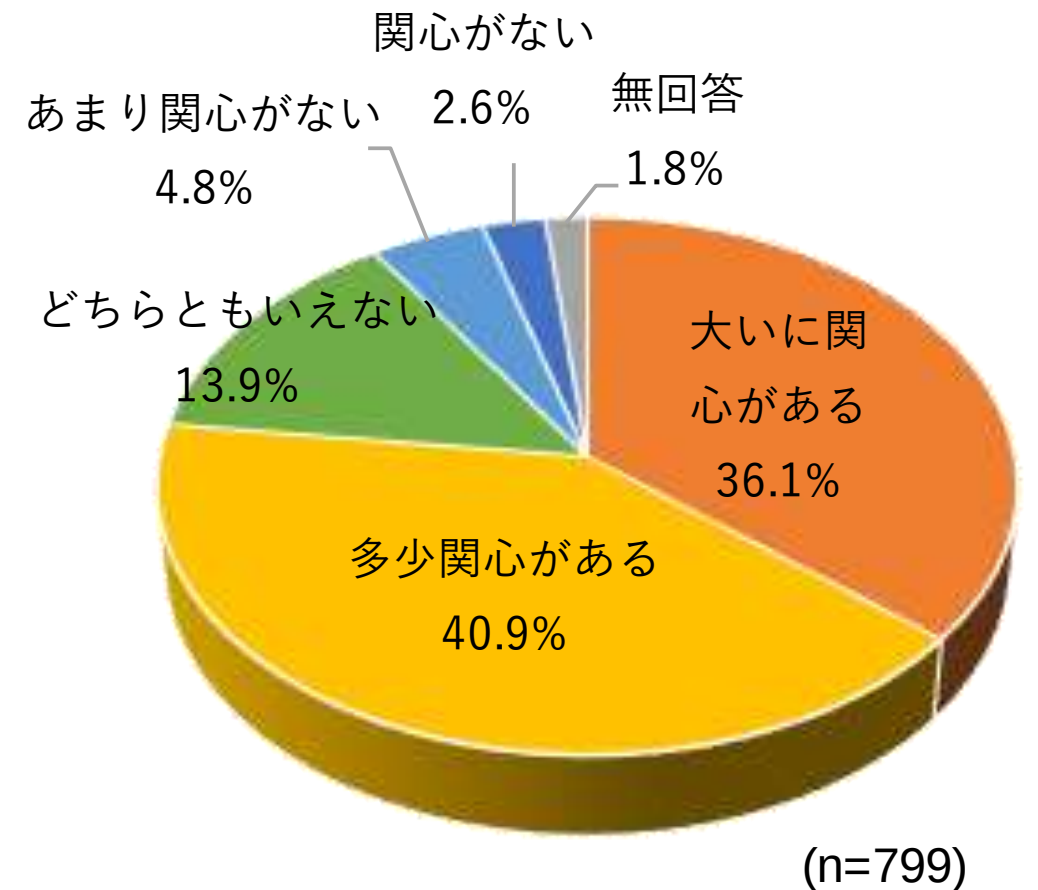
- 回答者の約82%が小谷村に愛着を持っている。

10代と50代以上で
愛着度が比較的高い。



景観への関心

- 回答者の約77%が「関心がある」と回答。

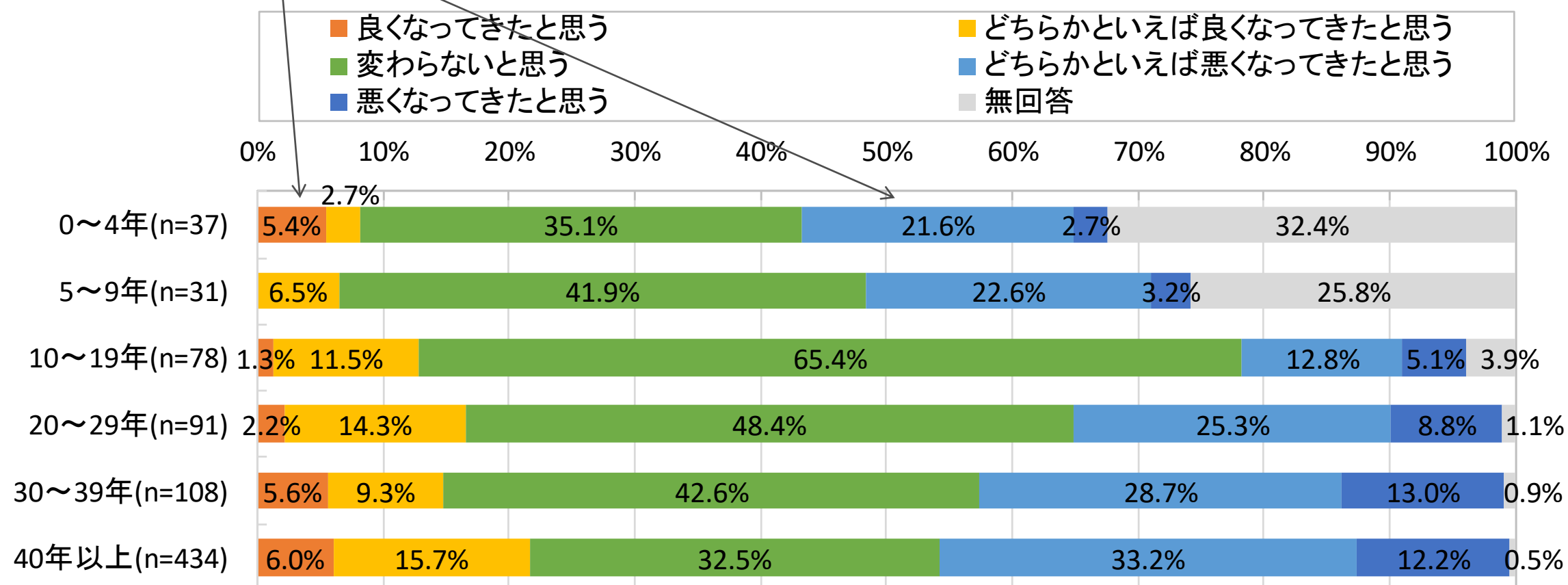
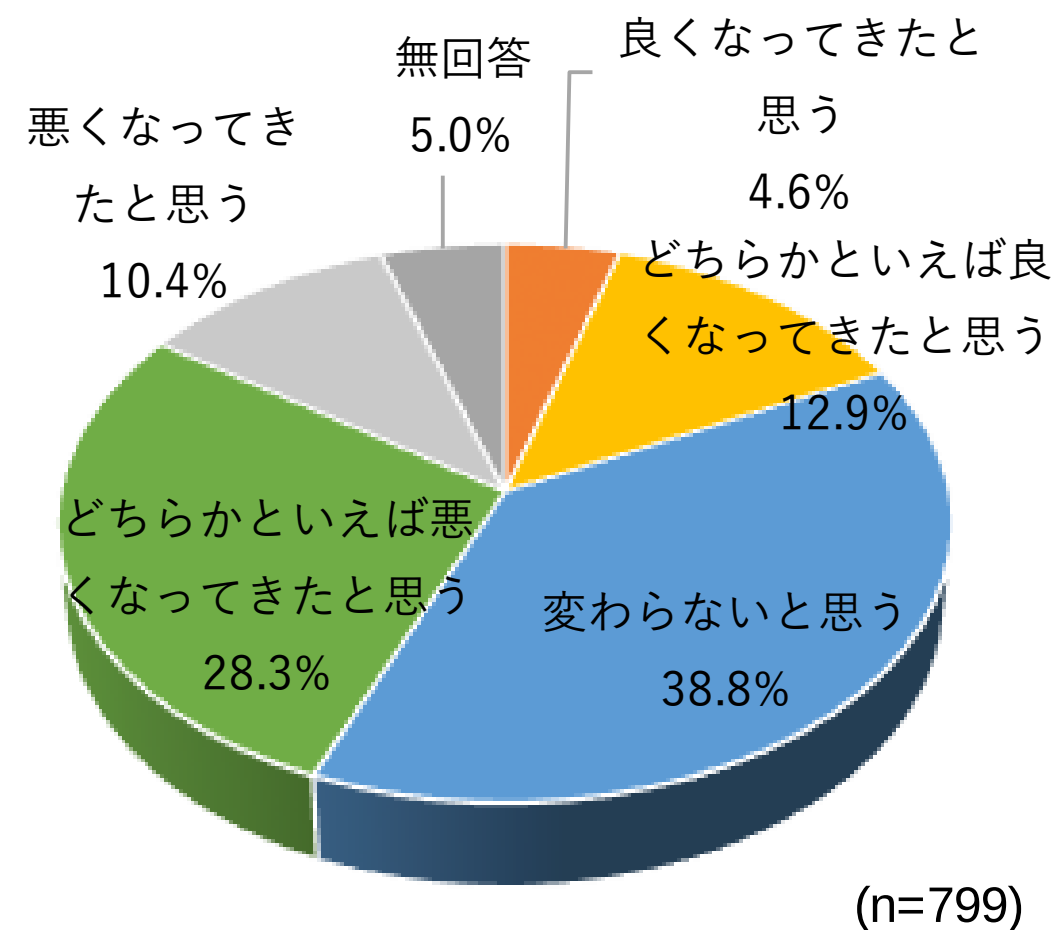


北小谷で「大いに関心がある」「多少関心がある」の合計が最も高い。

景観の変化に対する認識

- 回答者の約39%は変わらないと考えている。

「良くなってきた」「悪くなってきた」は年代が高いほど高かった



小谷村の大切にしたい景観・自慢したい景観

- 地図上に回答いただいた地名等のうち、出現頻度が上位50位までを図化した結果は下記のとおり。



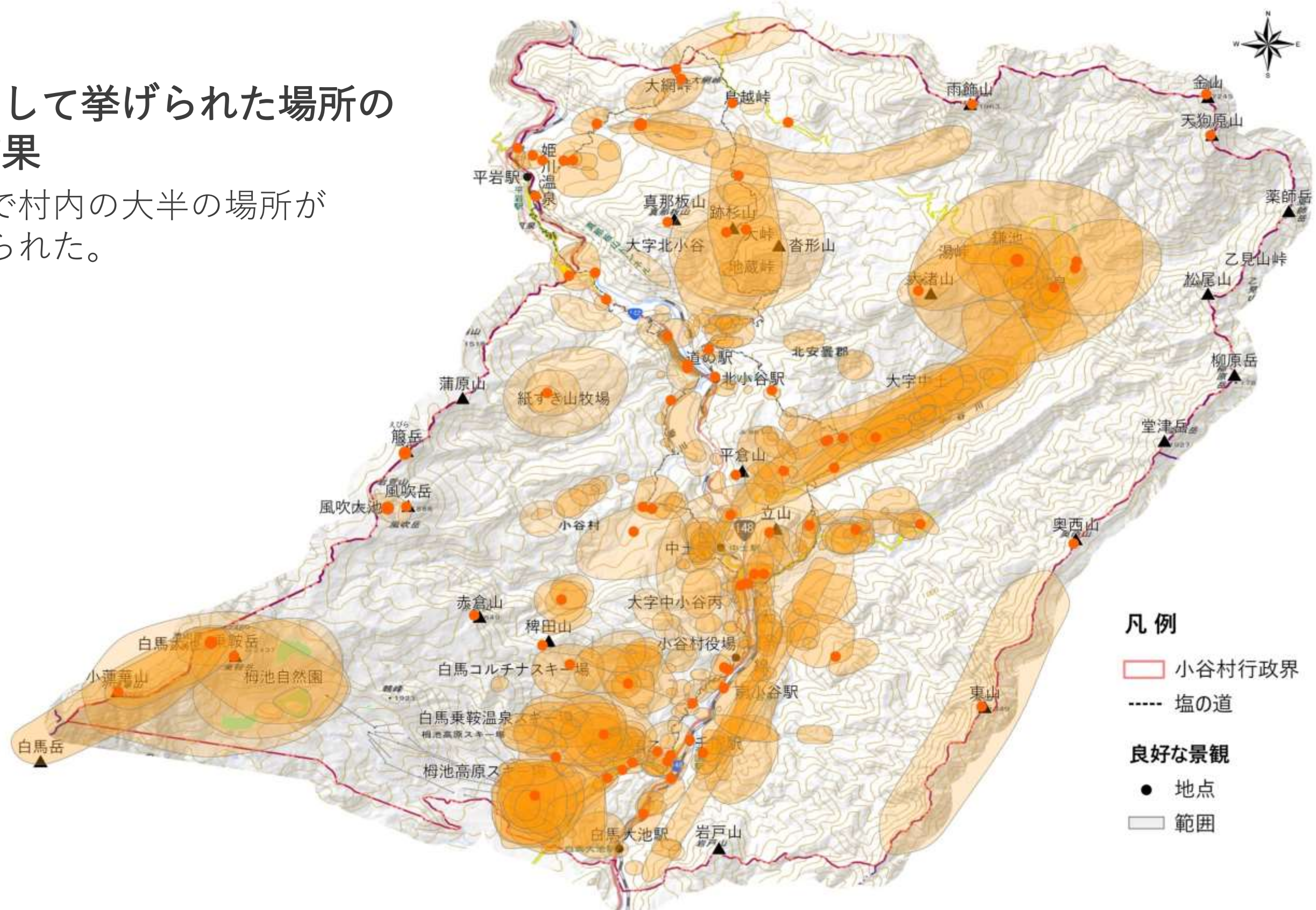
景観構成要素別の上位3位

	地名等	件数
山岳・高原	拇池自然園	33
	紙すき山牧場	32
	立山	28
河川・湖沼	鎌池	81
	白馬大池	18
	姫川	17
集落	大網	58
	千国	46
	曾田	45
交通	塩の道	43
	拇池パノラマ橋	28
	金谷橋	22

小谷村の大切にしたい景観・自慢したい景観

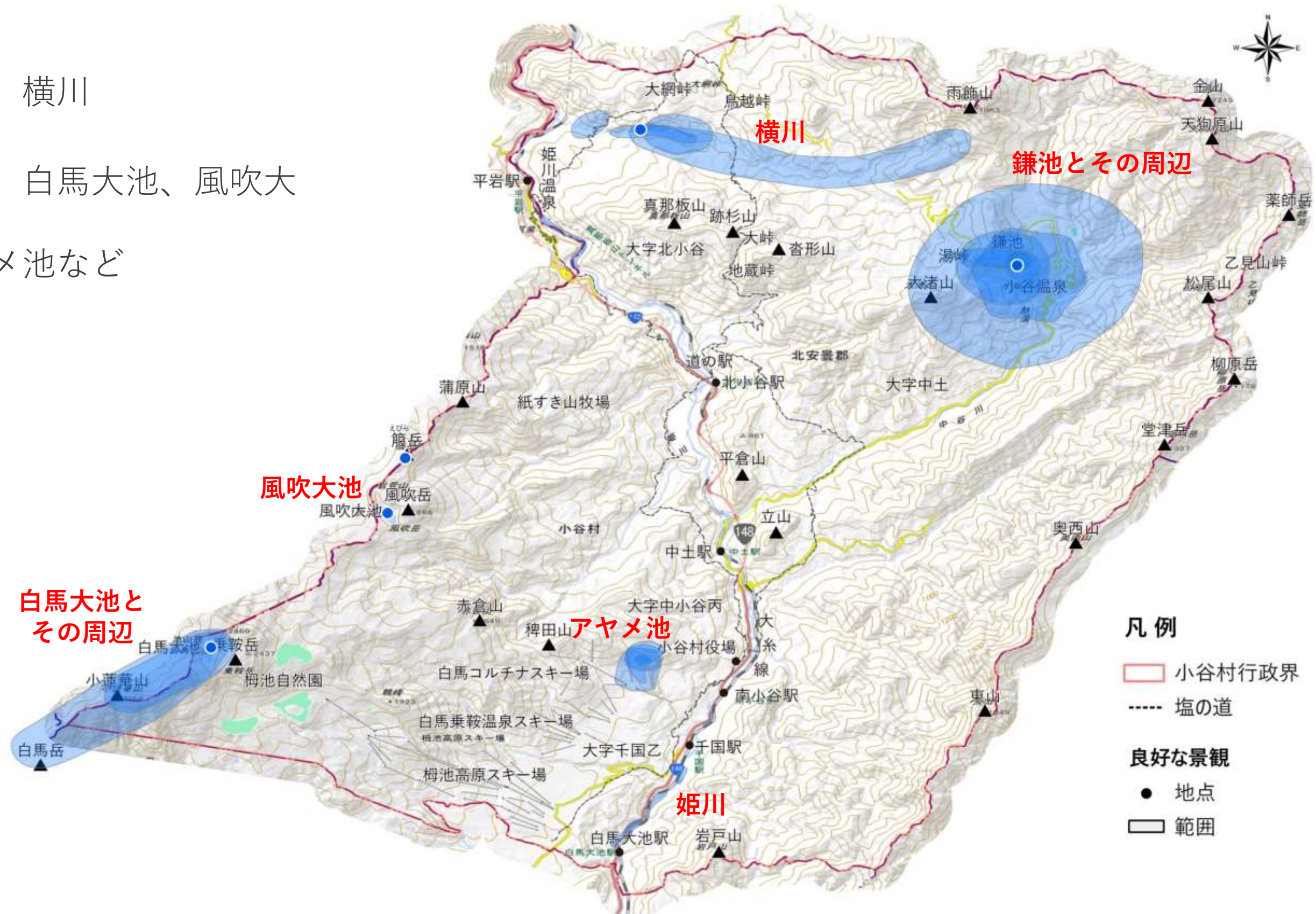
回答として挙げられた場所の 集約結果

- 回答で村内の大半の場所が寄せられた。



2 川・湖沼

- 川
姫川、横川
- 湖沼
鎌池、白馬大池、風吹大池、
アヤメ池など



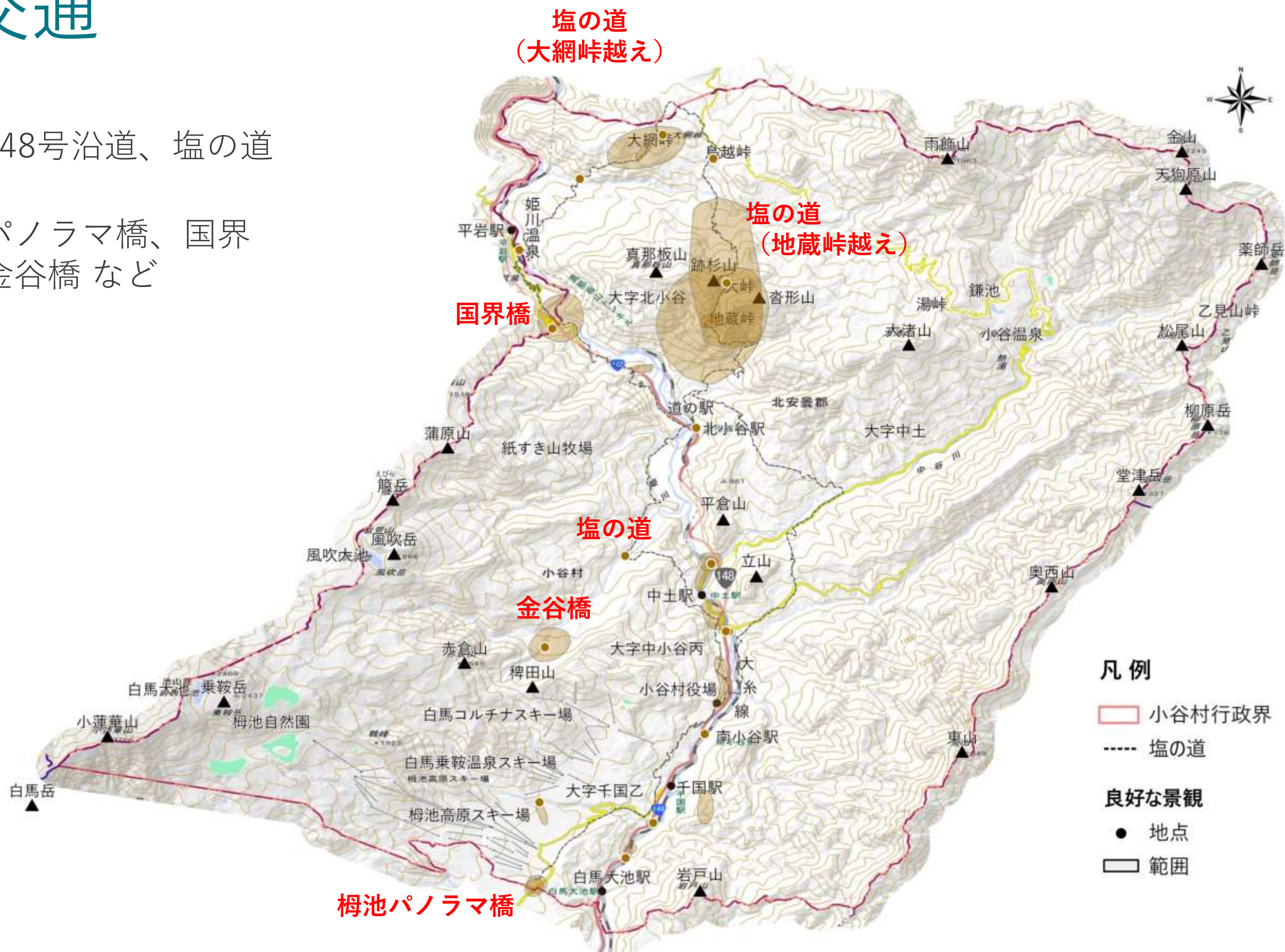
3 交通

- 道路

国道148号沿道、塩の道

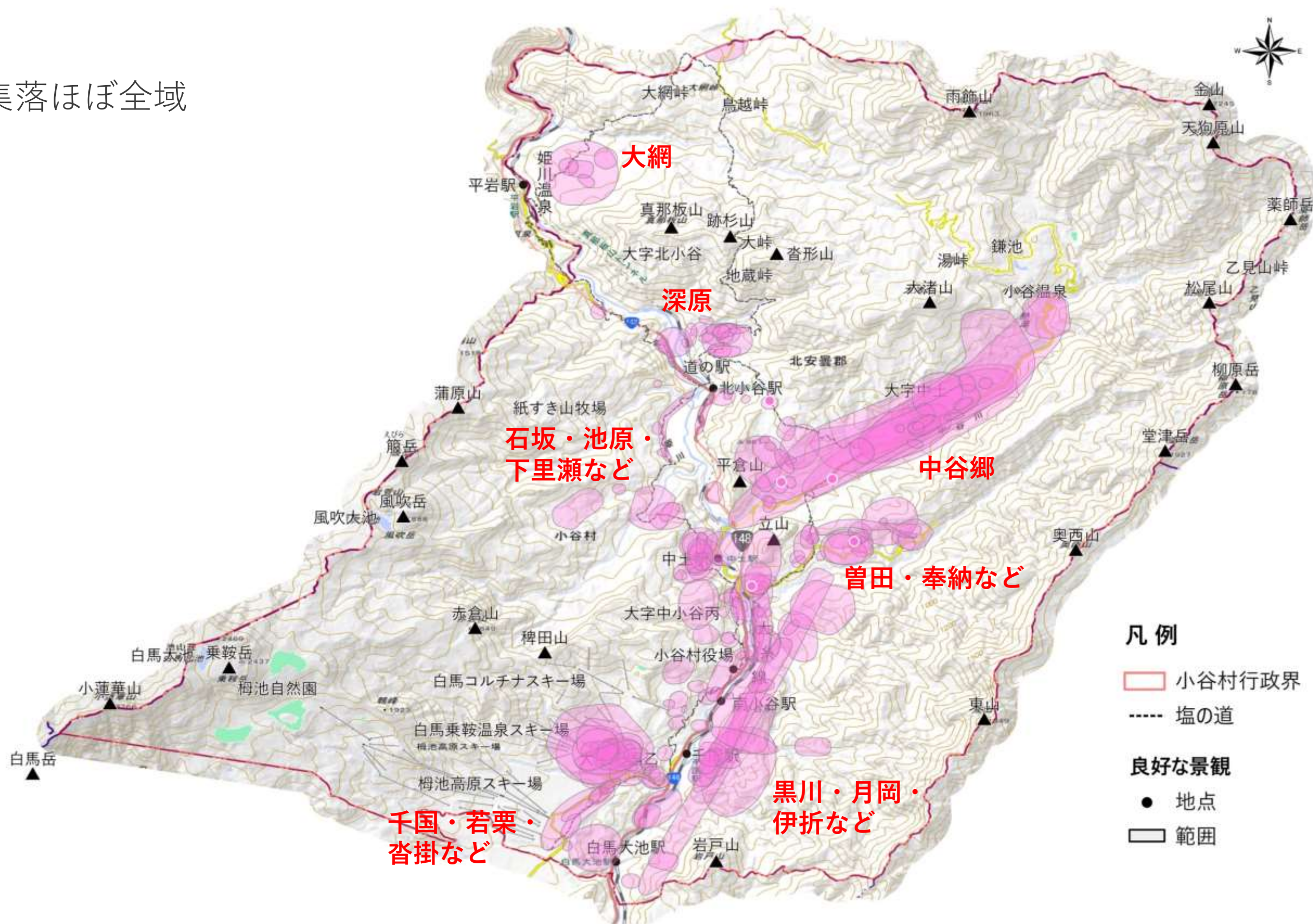
- 橋

拇池パノラマ橋、国界橋、金谷橋 など



4 集落

- 集落
村内集落ほぼ全域



5 観光

●スキー場

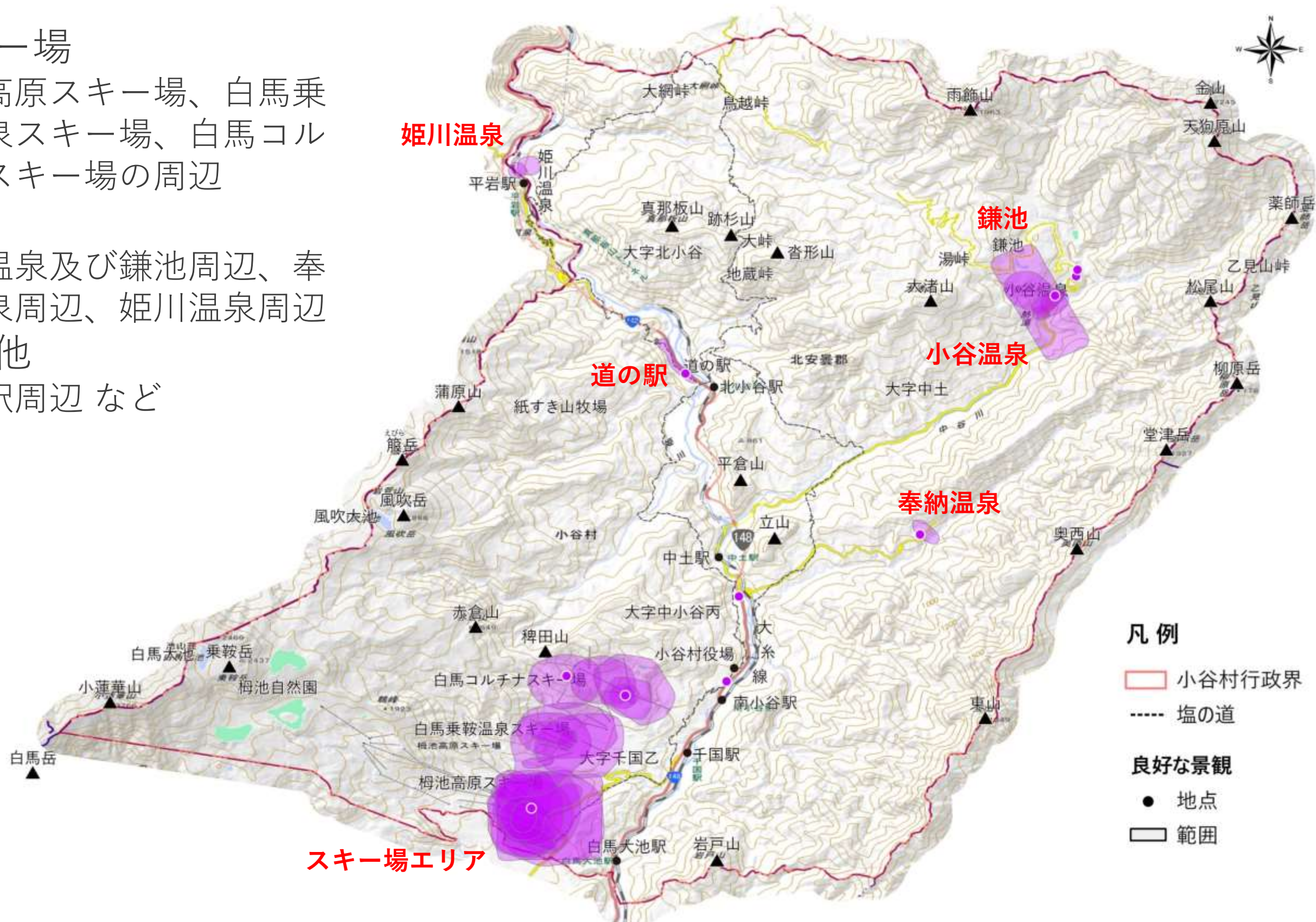
杣池高原スキー場、白馬乗鞍温泉スキー場、白馬コルチナススキー場の周辺

●温泉

小谷温泉及び鎌池周辺、奉納温泉周辺、姫川温泉周辺

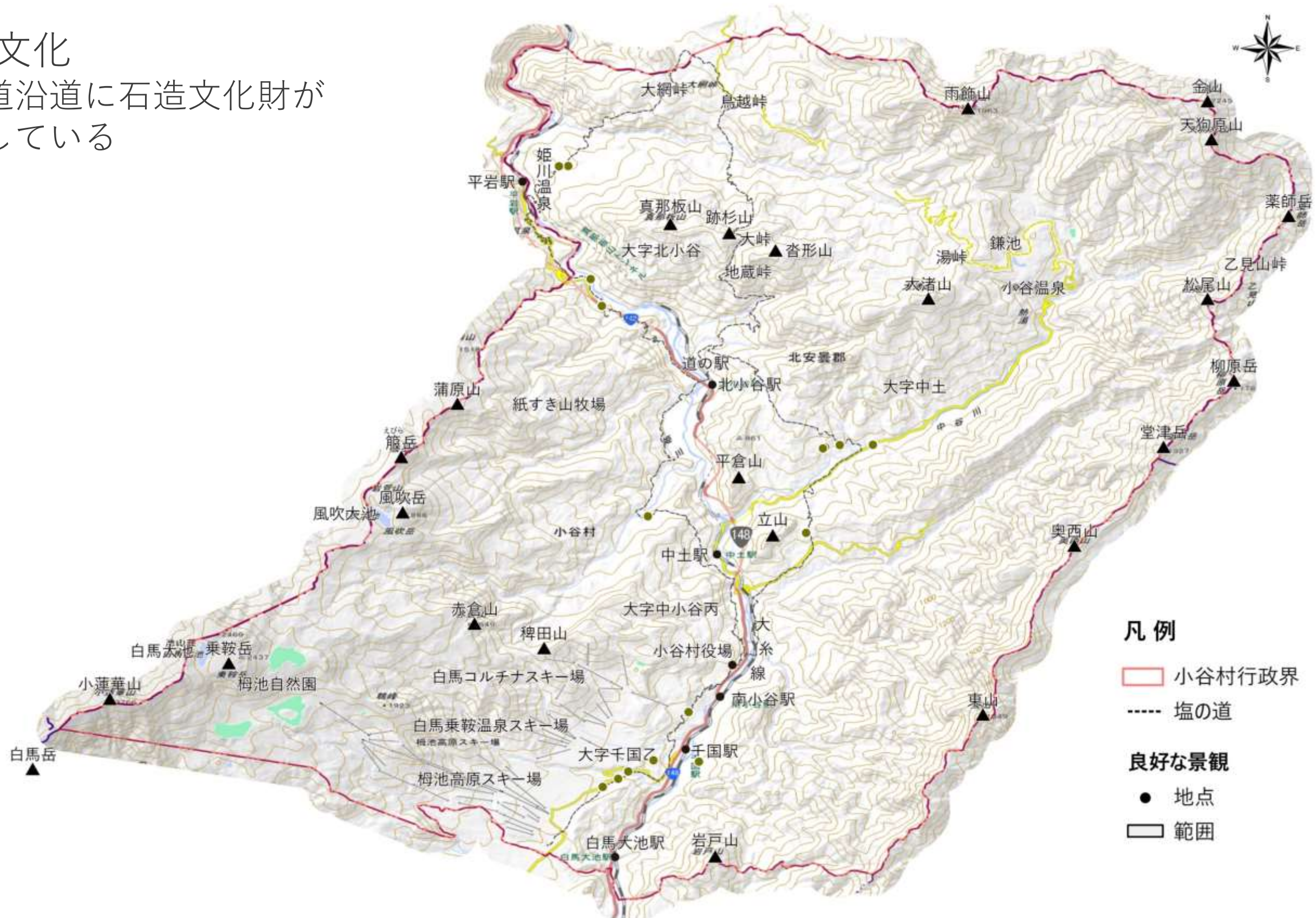
●その他

道の駅周辺 など



6 歴史文化

- 歴史文化
塩の道沿道に石造文化財が分布している



7 公共施設・災害復興

- 公共施設
小谷小学校周辺
- 災害復興
稗田山、来馬河原、
中谷郷周辺など



8 動植物・森林

●動物

ホタル、ルリイトトンボなど

●植物

桜、スイセン、ミズバショウ、カタクリ、フクジュソウなど

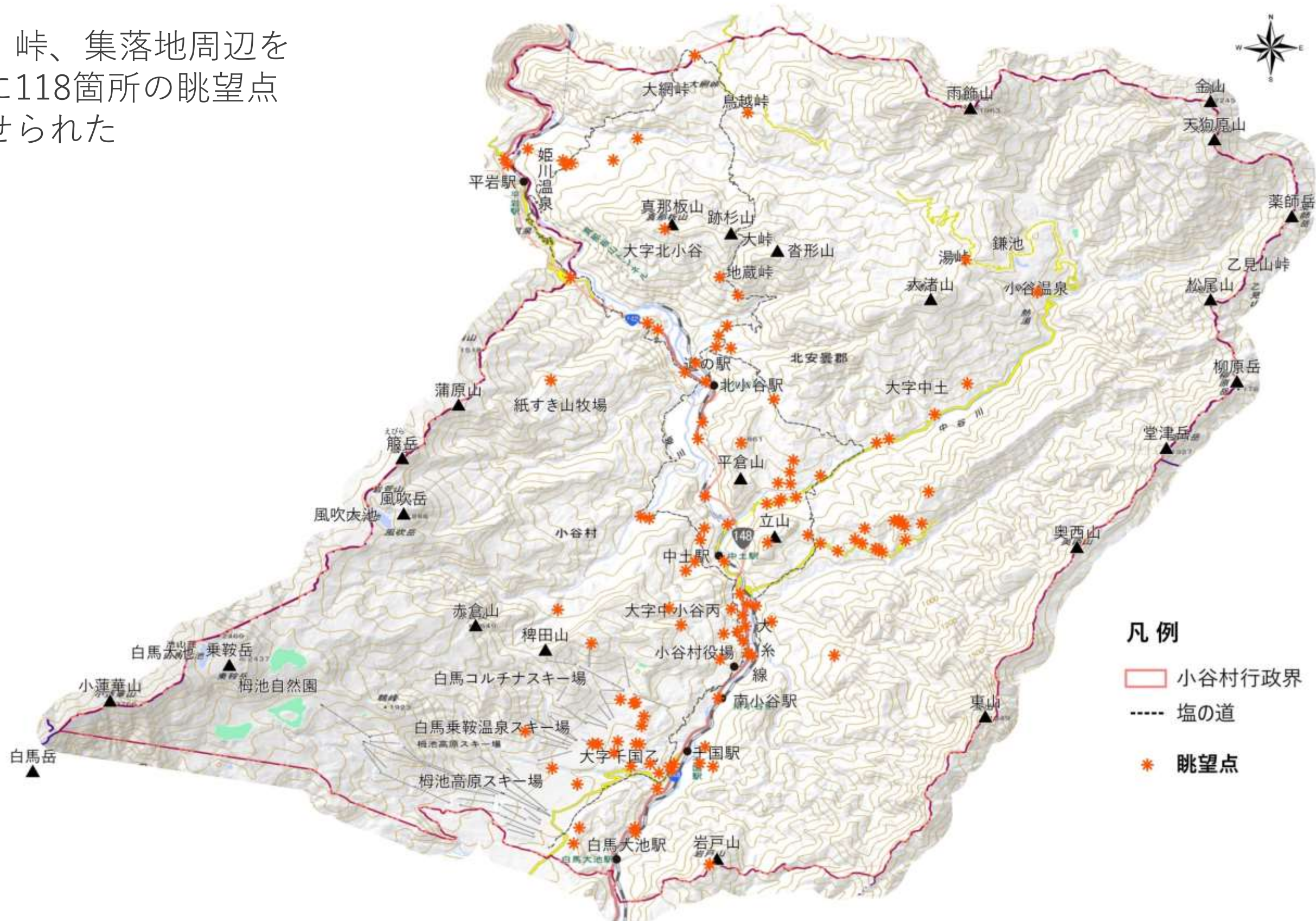
●森林

小谷温泉・鎌池周辺のブナ林、
北野のブナ林、山麓部の森林
など



眺望点

- 前山、峠、集落地周辺を中心に118箇所の眺望点が寄せられた



小谷村の改善したい景観

- 出現数が上位30位までを図化した結果は下記のとおり。

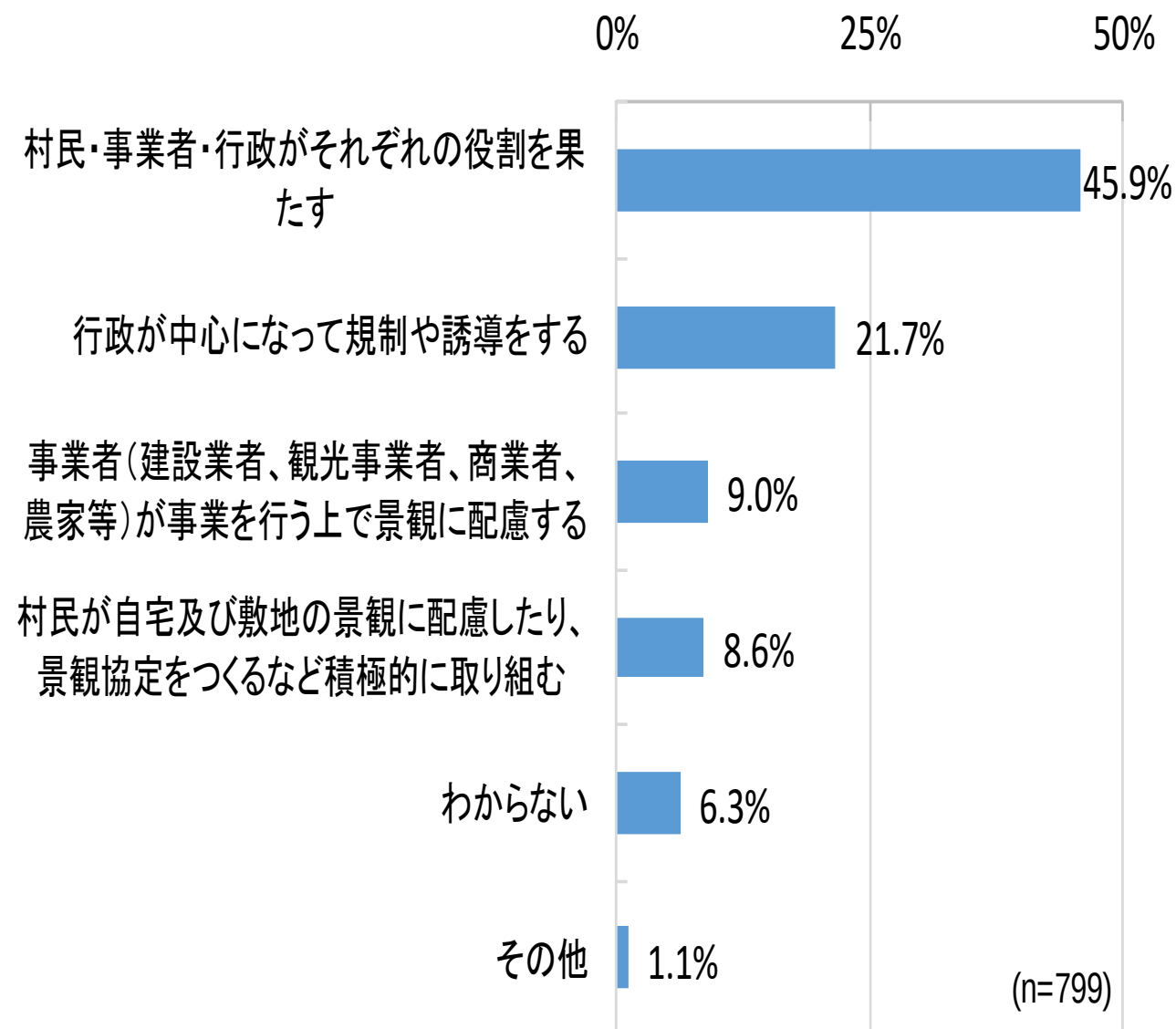


	地名等	件数
具 体 名	廃屋	138
	空き家	27
	看板	26
	建物	24
	道路	18
	屋根	17
	農地	15
	ゴミ	13
	電線	13
	草刈り	11
	雑木	9
	観光地	9

景観づくりの進め方

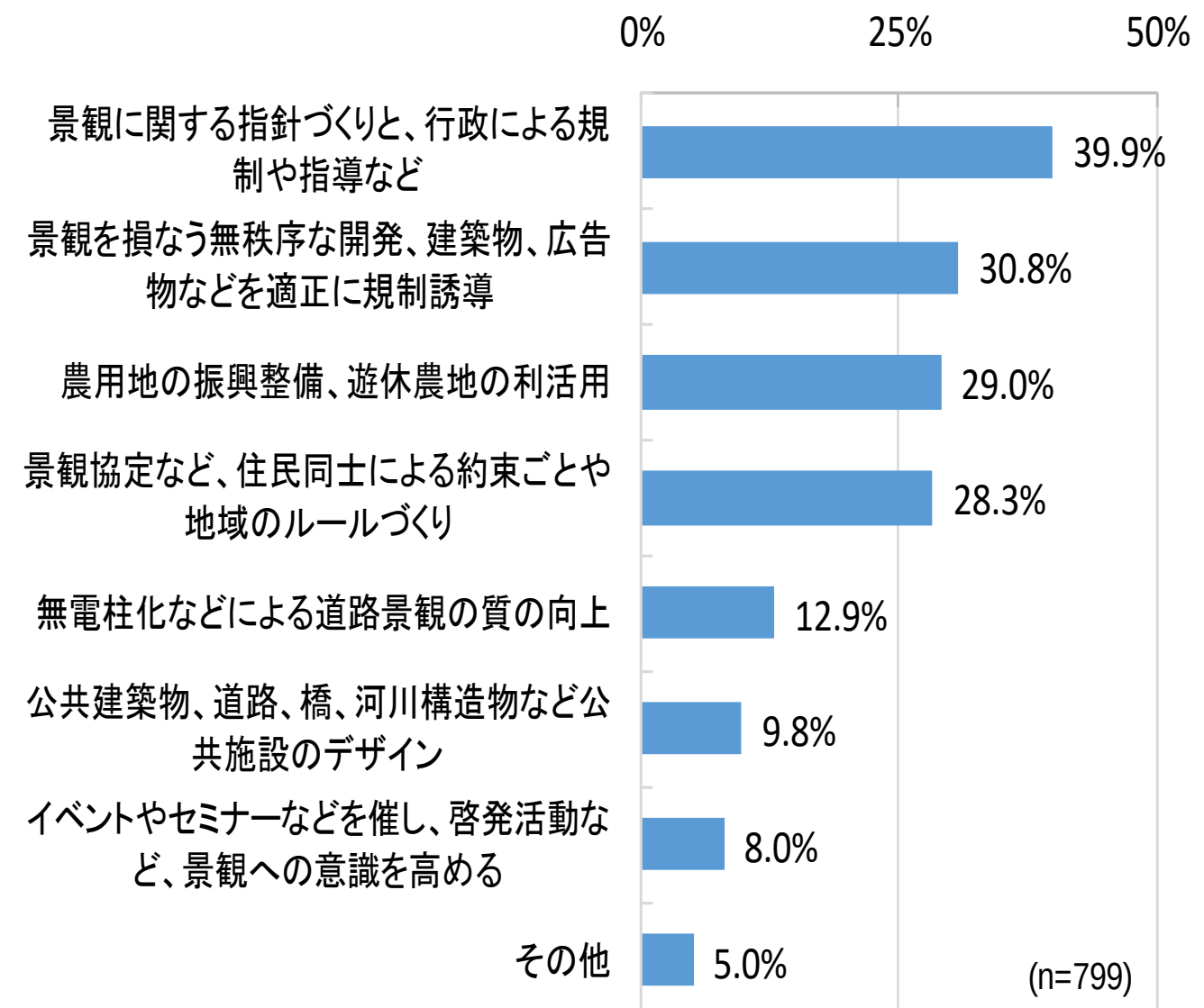
■ 誰が行うか？

- 全員が担うべきと考えている。



■ どのような取組が必要か？

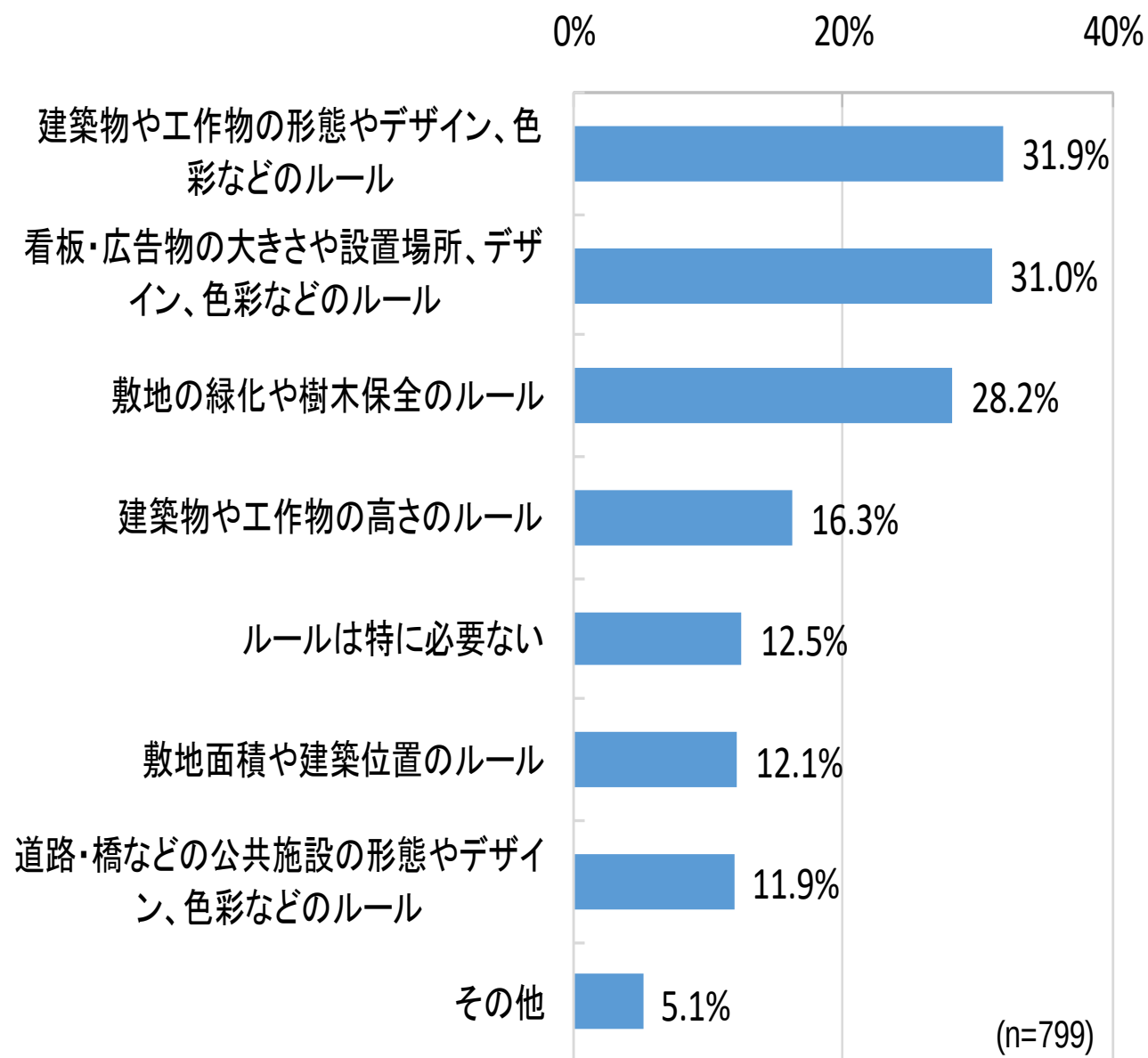
- 行政による規制や指導を求める意見が多かった。



景観づくりについて

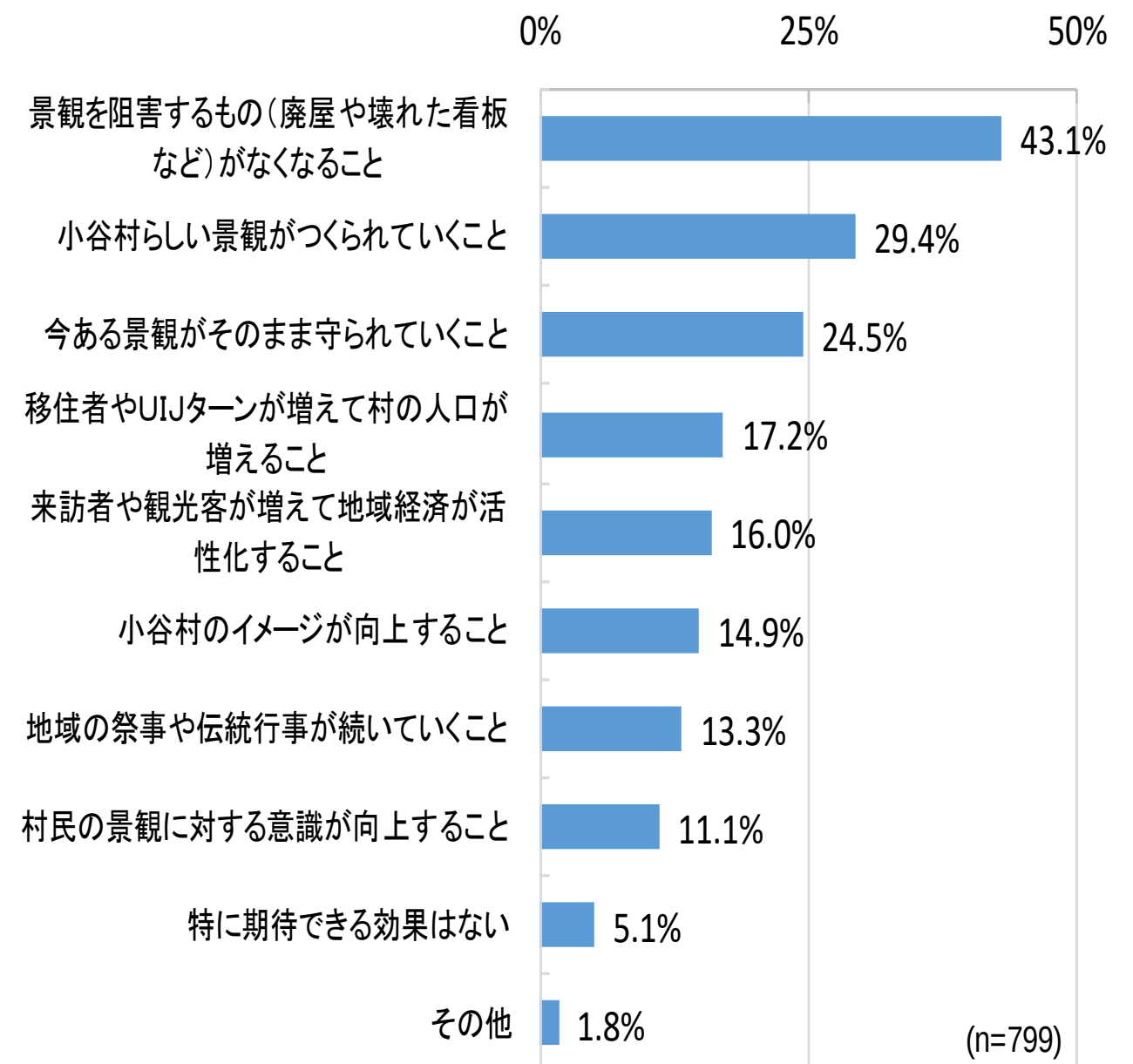
■ 必要なルールは何か？

- 建築物・工作物、看板・広告物が多かった。



■ どのような効果が期待されるか？

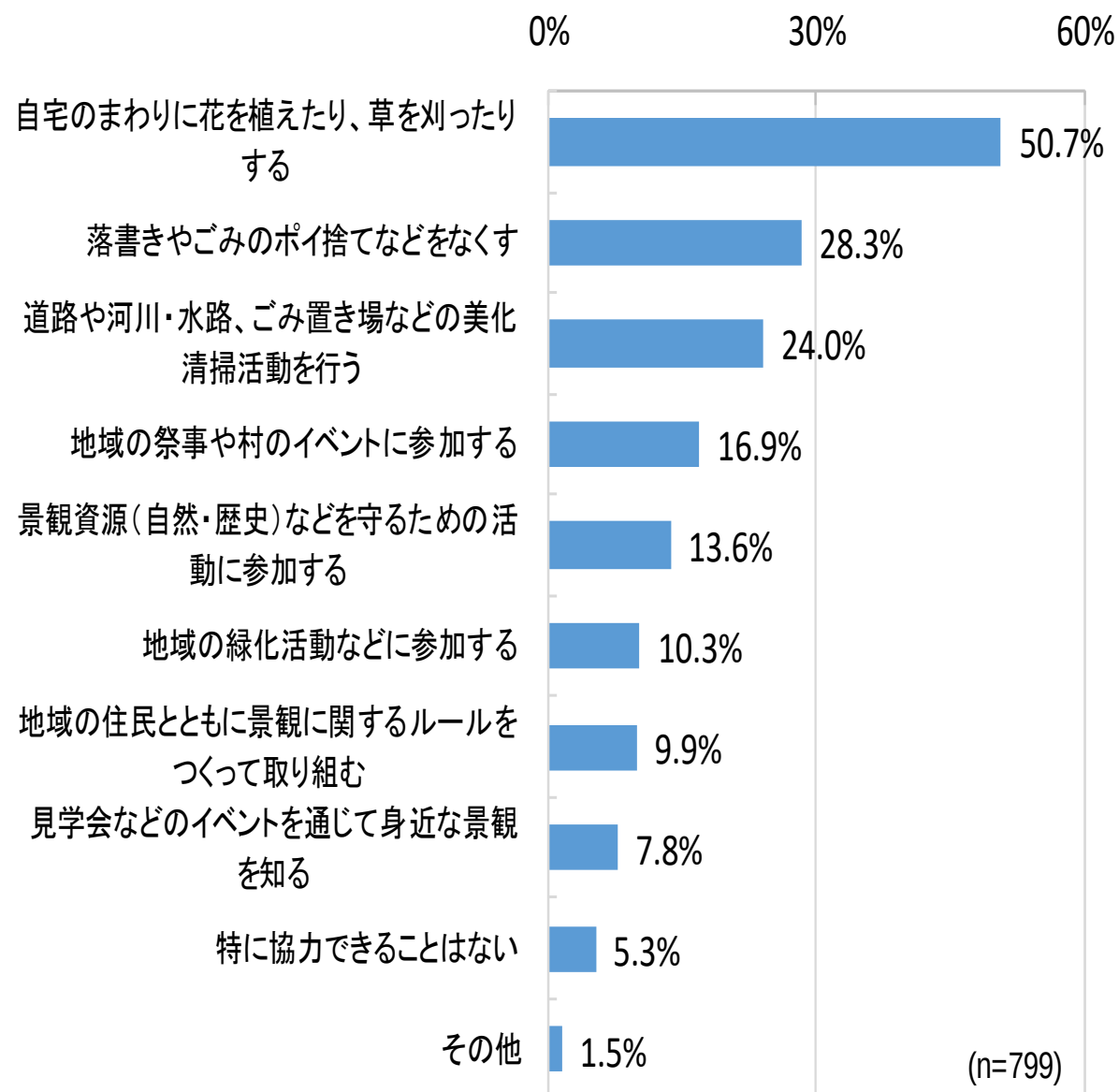
- 景観を阻害するものがなくなることへの期待が高かった。



景観づくりについて

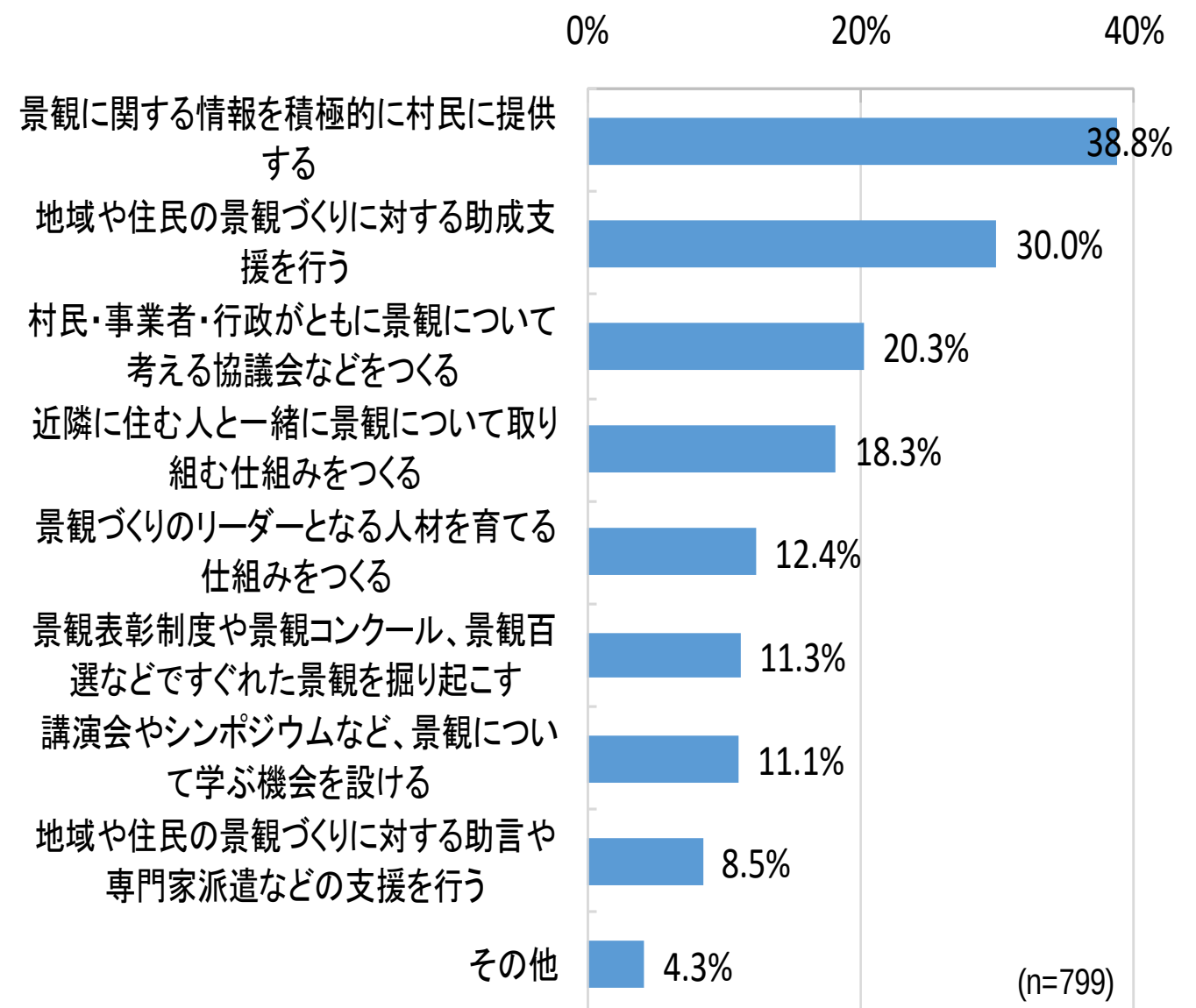
■ 協力できることは何か？

- 身近な取り組みに関心が多かった。



■ 行政に望む支援

- 情報発信や助成制度への期待が高かった。



景観に関する自由意見

- 寄せられた意見について解析を行い、名詞のうち10回以上出現した単語を図化した結果は下記のとおり。



	単 語	件数
10 回以上出現した単語上位	自然	53
	村民	53
	廃屋	48
	行政	45
	整備	45
	建物	41
	場所	37
	道路	37
	住民	34
	地区	28
	集落	27
	風景	27